

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年9月1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	舞鶴倉庫株式会社
所在地	京都府舞鶴市大字松陰小字嶋崎 23 番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 久保 勝
担当者連絡先	電話：0773-75-1850
	メール：info@maizuru-soko.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.maizuru-soko.co.jp/






2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は1947年に創立して以来、70年以上にわたり倉庫業を中心とした物流事業に携わっております。京都舞鶴港を中心に倉庫を構え、多岐にわたる取扱品を最適な状態で保管するとともに、港湾運送、流通加工、通関業務など、お客様のニーズに合わせたサービスを提供しております。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	温室効果ガス排出量の削減のため、荷役に使用するリフトにバッテリー式リフトの導入を進める。	バッテリー式リフト導入率 【現状】53% 【目標】80%
□環境 ✓社会 ✓経済	業務の効率化により時間外労働を削減し、従業員の健康の促進と組織の活性化を目指す。	1人当たり時間外労働 【現状】15.1時間/月 【目標】10時間以内/月
□環境 □社会 □経済		

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●就業規則にハラスメントを禁止する旨を明記している。 ●eラーニングのハラスメント講習を受講し、啓発を行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	●毎月ノー残業デーを実施している。 ●管理職を含めた残業時間削減目標を設定している。【一人当たり月平均時間外労働 現状:15.1時間 目標:10時間以内】								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●安全衛生会議や安全パトロールを実施している。 ●ヒヤリハットやツールボックスミーティングによりKY活動に取り組み、安全意識を高めている。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●職務や役職に応じた研修・eラーニング等で教育訓練を行っている。 ●資格取得者には資格手当の支給制度がある。			4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	●「健康優良企業認定証」を取得し、健康優良法人認定基準を遵守している。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	●事務所から出る廃棄用紙を分別し、リサイクルしている。										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●事務所・倉庫の照明をLEDに取り換え、消費電力を削減している。								7.3				13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	●バッテリー式フォークリフトの導入を進めている。 【導入率 現状:53% 目標:80%】 ●「京都版CO ₂ 排出量取引制度」に参加し、温室効果ガス排出量削減に取り組んでいる。									7.2 7.3			12.4	13.3				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9		6.3						11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している					6.6										15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる					6.4 6.6													
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9		6	7					12	13.3	14	15				
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる						7.2						13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	●「SGS施設セキュリティ評価登録証」を取得するなど、貨物の安全性の確保に取り組んでいる。		3.9								12.4							
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している									9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる					6						12	13	14	15				
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	●災害時の緊急支援物資受入拠点として倉庫を登録している。	1	2								11					16	17	
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4						9	11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	●地域イベントへの協賛や赤十字への寄付を行っている。 ●地域の清掃活動に参加している。			4							11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	●中元・歳暮など贈答品に地元特産品を利用している。								8	9	11	12	13					

